



つばめ農園おひさま便り

45

安溪貴子・安溪遊地

八重山から北海道へ

長い梅雨のあと、猛暑が続いた夏ですが、台風が次々にやってきました。被害に合われた方々にお見舞いを申し上げます。阿東高原でも三四度を越す日々、空調服を着ても、朝はせいぜい一〇時すぎまでが安全に農作業できる時間です。昼食を食べて昼寝。夕方は一六時を過ぎるまでとても動けません。棚田の長い斜面を始めとする草刈りがまず大変で、草集め、畑のトマト、キュウリ、白瓜、ニガウリ、ピーマン、ナス、オクラ、いろいろなカボチャなどなどの手入れと収穫に追われます。ソウメンの薬味にいいミョウガやシソも大量に採れました。おかげさまでお米と味噌と野菜はほぼ自給できるようになってきました。今年には三年前にハウスに植えた二種類のブドウが見事な実をつけ、マクワウリとあいまつて、梨など買わずに済ませられています。水田に二％に薄めた食酢をかけるとコナギなどが見事に枯れることも実証中です。

さて、六月下旬からの西表島・石垣島の旅のあと、六日ほど山口にいて、七月中旬には北海道にでかけました。与那国島出身

で、今は小樽に住む和歌嵐香N子さんの、古くから伝わる島ことばと日々の祈りを、画文集としてまとめたのですが、N子さんを応援するみなさんが、その原画展を開いてくださいました。画文集を発行した総合地球環境学研究所の共催も得て、小さな会場でしたが、哲学者で詩人の花崎皋平さんが会場に来てくださるなど、アイヌの方々の交流も含めて、久しぶりの再会や新しい学びもありました。

対馬と上関の動き

さて、話は飛びますが、小樽から四二キロの泊村には、泊原発があり、その近くの寿都町と神恵内村は、原発の使用済み燃料を再処理した時にできる、死の灰をガラスで固めた高レベル廃棄物を地下深くに埋める場所の候補地として手を挙げました。既知の情報を集める「文献調査」を受け入れるだけで、最大二〇億円を政府が出すというのです。道北の幌延町では、地下五〇〇メートルまで掘削して、高レベル廃棄物の最終処分のための研究開発が進められています。

二〇二三年八月一六日には、長崎県の対



馬市議会が、全国で三番目の「文献調査」を希望するように、市長に迫る請願を可決しました。同市議会は二〇〇七年、誘致に反対する決議案を賛成多数で可決しましたが、今回は商工会を中心とした誘致に前向きな声によって逆の結果になりました。対馬市長の比田勝尚喜さんは、今年三月「一番望むことは、誘致問題で市民が分断しないことだ」と慎重な姿勢を表明しました。いつぼう、私達の地元山口県の瀬戸内海

に面した上関町では、四〇年以上も上関原子力発電所を作ろうとして、地元の根強い反対運動によって作ることができないでいます。推進か反対かで親戚まできびしく分断されてきた町も、福島第一の事故のあとは、原発設計画が進む様子もなく穏やかに見えました。ところが、ほとんどの町民にとってさえ寝耳に水の状態で、八月十八日に、町長が主に関西電力の原発からの使用済み燃料の「中間貯蔵施設」建設計画のための中国電力の調査を受け入れることを町議会に対して表明しました。

中間貯蔵施設というのは、北海道や対馬で検討されている高レベル廃棄物ではなくて、原子力発電所の使用済み燃料の置き場のことです。原子力発電所の建屋の中にあるプールに保存されていますが、地震などで水が抜けると崩壊熱によって燃料棒が溶けて大量の放射性物質が環境に放出されることと、当初の計画よりも隙間を詰めて入っても、満杯になれば原子炉の運転が止まるという問題への解決策としてアメリカなどで実施されているものです。

具体的には、プールで七年ほど冷やした使用済み燃料を、ひとつ一〇〇トン以上ある容器に入れて、地上に建設した体育館の

ような施設で乾式貯蔵するという計画です。関西電力は、五〇〇トン近くある使用済み燃料を、福井県から県外への持ち出しを迫られて困り果てています。それを中国電力が助けることにするという計画だということです。これは、再び地域の分断を招くだけでなく、次のような大きな問題があります。青森県の六ヶ所村で動かす予定の使用済み燃料再処理施設は二〇年かけても建設完了できない故障続き、取り出したプルトリウムを燃やす予定の高速炉「もんじゅ」も廃炉と、核燃料サイクルは破綻しています。だから、一度受け入れれば「中間」ではなく「最終貯蔵施設」になること。アメリカでの方式とはことなっており、エポキシ樹脂で固めた容器は、津波などにも弱いことと、せいぜい四〇〜五〇年の寿命しかありません。瀬戸内海でもっとも生物多様性の高いところに何千トンもの核のゴミを置く計画なのです。（つづく）

（あんけいたかこ・あんけいゆうじ）

✉ a@ankei.jp

📄 <http://ankei.jp>

ORコードにスマホをかざすと、サイトが見られます。

